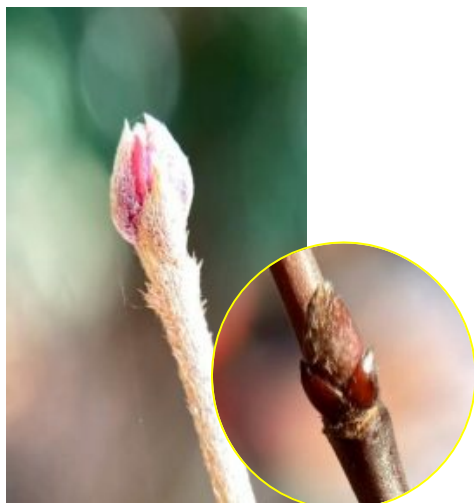
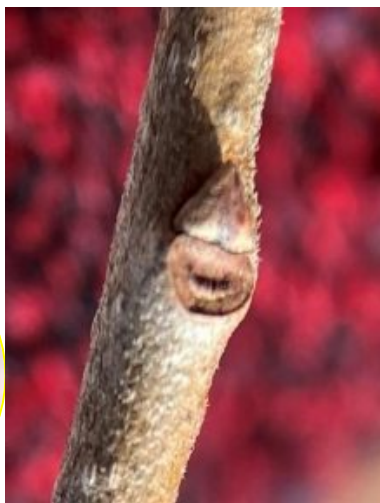


第19回 花ごよみ調査隊 (2025.1.22)



コバノガマズミ

冬芽もやっぱり毛深い
丸内はミヤマガマズミ (獅子窟寺)



カキノキ

タンスの取っ手



イロハモミジ

丸内の温かそうな毛糸のパンツ
はオオモミジ (ネットより)



ナンキンハゼ

先が枯れたようになる



イヌエンジュ

ツートンカラー



クロバイ

頂芽が赤い水滴型



ロウバイ

箕面の春一番乗り



クマノミズキ

この木だけでも展葉していた
まだまだ寒いのに大丈夫かな？



ニワトコ

展葉



聖天展望台の向かいの山

暖温帯の極相林であるシイ
5月になると、白い花で覆われる
「椎の花八重立つ雲の如くにも」



フジ

形成層を3重4重にして多量の
水を賄い、早く大きく育つ
生存戦略



ソヨゴ

頑張らない木。倒れたら倒れた
ままひこばえを出し、早々と
世代交代の準備をする生存戦略



エドヒガンの樹形

枝先がシャープにずっと
伸びている



ソメイヨシノの樹形

枝が横にはる



トサミズキの樹形

株立ち



独立木のムクノキ

のびのびと枝を伸ばしている



林内木のムクノキ

隣の木に当たらないよう
上に枝を伸ばす



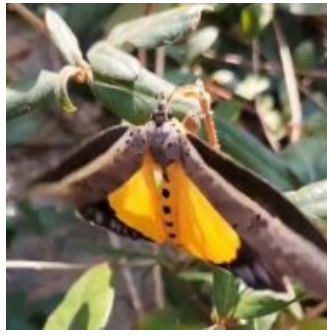
天国まで届く木

Tree of heaven
神樹 シンジュ



シンジュキノカワガの繭

蛹化前にシンジュの樹皮をかみ砕いて繭の周りに付けて木肌にカモフラージュ



シンジュキノカワガ成虫 (写真田中悦朗さん)



幼虫 (10/24 長居植物園)



クモラン

ばばたれ坂に落ちていたスギの枝に付いていた



アオツツラフジ

あんな葉やこんな葉が



シイ

こんなボコボコのシイの葉も



桜の樹皮が落ちていた

秋田の樺細工はオオヤマザクラ

桜は中だけ腐り皮が残る



ヤマコウバシ

茶色の葉が残り全縁→ヤマコウバシ
鋸歯→コナラ、アベマキ、クヌギ、クリ



ヤブニッケイ

* 三行脈 * コクサギ型葉序
* 葉柄が曲がっている

オオヤマザクラは
冷温帯の代表的な桜



センニンソウの果実

ボタンヅルの果実より大きく
平べったい



シロヤマヅキの果実



オニルリソウの果実

